

市内循環バス見直し等の補正予算を可決

12月定例会

11/27	本会議	開会 議・議案第4号、議案第60～62、64号採決 議案第63、65～73号、請願第3号委員会付託
30	総務常任委員会	付託議案審査
12/1	産業建設常任委員会	付託議案審査
2	文教厚生常任委員会	付託議案審査
8	本会議	一般質問（4人）
9	本会議	一般質問（4人）
10	本会議	一般質問（3人）
11	本会議	議案第63、65～73号、請願第3号採決 意見書案第2号採決 閉会

平成21年第4回鶴ヶ島市議会定例会が11月27日から12月11日までの15日間の会期で開催されました。

本定例会では、議員提出議案1件、市長提出議案14件、請願1件、議員提出意見書案1件を審議しました。

また、一般質問は3日間にわたり行われ、11人の議員が登壇しました。

みなさんからの 請願

請願1件が提出されました

請願第3号 採択

食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める請願

【請願者】 鶴ヶ島市富士見 生活クラブ生活協同組合鶴ヶ島支部代表 大野洋子さん（外267人）

【要旨】 ①加工食品原料のトレーサビリティと原料産地の表示を義務化すること②全ての遺伝子組換え食品・飼料の表示を義務化すること③クローン家畜由来食品の表示を義務化すること、を国に意見書として提出すること。

※トレーサビリティ：食品がどこから来てどこへいったかわかるようにするもの。（農林水産省ホームページより）

Q トレーサビリティの義務化により、企業の経費負担が増すことについてどう考えるか。

A 紹介議員 食品の経歴を表示することは、本来、当然のことだと認識している。経費負担が増すことについては、個々の企業の責任においてすべきと考える。

意見書 議員から提出された意見書案第2号は全員賛成で可決され、関係機関に送付しました。

食料の自給力向上と食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正を求める意見書

繰り返される加工食品原料の産地偽装事件や毒物混入事件を受けて、多くの消費者が食の安全・安心のために国産食品を求め、自給力向上を望んでおり、また、冷凍食品原料をはじめとする加工食品の原料産地の表示義務化を願っている。

多くの消費者が安全性に不安を抱き、「遺伝子組換え食品を食べたくない」と考えているにもかかわらず、現在の表示制度の欠陥によって、そうとは知らずに食べ続けている現状がある。

食品安全委員会は、死産及び生育期の病死の異常な多発原因について解明できないまま「体細胞クローン由来食品は安全」と評価し、その商品化は間近に迫ってきた。

さらに、受精卵クローン由来食品は既に任意表示で流通を始めているが、多くの消費者は、その安全性に不安を抱き「クローン由来食品を食べたくない」と考えている。

今こそ、命の基本となる食料の自給力向上、食の安全・安心の回復のために、食品のトレーサビリティとそれに基づく表示制度の抜本的な見直しが必要である。

消費者が知る権利に基づいて、買う、買わないを自ら決めることのできる社会の実現を目指すべきである。

よって、以下の3点について、食品表示制度の抜本改正を求める。

- 1 加工食品の原料のトレーサビリティと原料産地の表示を義務化すること。
- 2 遺伝子組換え食品・飼料の表示を義務化すること。
- 3 クローン家畜由来食品の表示を義務化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

陳情

○政府および国会に「非核三原則」の法制化を求める意見書提出についての陳情

○請願書の不受理に際して地方公共団体を被告として提訴できる旨を会議規則等で明らかにし、教示する様式を定めることを求める請願（紹介議員がいなかったため、陳情として扱いました。）